

<創立50周年に向けてシリーズ>第1回

モーツァルト室内管弦楽団

第168回定期演奏会

<モーツァルト・オペラシリーズ>第12回

第145回定期演奏会「フィガロの結婚」
2012年1月9日 いずみホール

モーツァルト 《魔笛》

K.620 全曲

(演奏会形式・字幕付き原語上演・科白は日本語)



指揮◆門 良一

開演10分前より指揮者によるプレトーク有



【キャスト】

ザラストロ: 松下 雅人(バス) 夜の女王: 四方 典子(ソプラノ) タミーノ: 諏訪部 匡司(テノール) パミーナ: 鬼一 薫(ソプラノ)
パパゲーノ: 西尾 岳史(バリトン) パパゲーナ: 西田 真由子(ソプラノ) 弁者・僧: 萩原 寛明(バスバリトン) モノステス: 橋本 恵史(テノール)
第一の侍女: 津山 和代(ソプラノ) 第二の侍女: 櫻井 孝子(ソプラノ) 第三の侍女: 山田 愛子(メソソプラノ)
第一の童子: 朴 華蓮(ソプラノ) 第二の童子: 山田 千尋(ソプラノ) 第三の童子: 麻生 真弓(メソソプラノ)
第一の武士: 西垣 俊朗(テノール) 第二の武士: 西垣 俊紘(バス) 合唱: モーツァルト記念合唱団(合唱指揮: 益子 務)

2016.

1/10(日)

いずみホール

3:00pm開演(2:30pm開場) 入場料: 一般 ¥5,000(指定席) / 学生 ¥1,000(当日限定数発売) *小学生よりご入場いただけます。

コンサートマスター: 釋 伸司
指揮: 門 良一
制作: 西垣 俊朗、益子 務、門 良一

JR環状線「大阪城公園」駅から徒歩3分、「京橋」駅から徒歩7分、
地下鉄長堀鶴見緑地線「大阪ビジネスパーク」駅から徒歩5分。
有料駐車場完備

主催◆モーツァルト室内管弦楽団 <http://www.moz-kam.org> 特別協賛◆高松建設

協賛◆いずみホール [一般財団法人住友生命福祉文化財団]

マネジメント◆大阪アーティスト協会 TEL06-6135-0503/FAX06-6135-0504 e-mail:artists@gol.com

〒530-0041大阪市北区天神橋3-3-3南森町イシカワビル507 URL:<http://www.oaa1985.com/>

前売

大阪アーティスト協会 050-5510-9645(電話受付:平日10~18時) いずみホール 06-6944-1188

ローソンチケット 0570-084-005(Lコード:53922)

*大阪アーティスト協会は世界の子どもの未来を支える大阪ユニセフ協会に賛同し、コンサート会場で募金活動等を行いながら、音楽を通して少しでも社会に貢献できるような取り組みを続けています。皆様のあたたかいご支援ご協力をお願い申し上げます。



モーツァルト・オペラの最高傑作《魔笛》

《魔笛》はその内容、人気ともにモーツァルトのオペラの最高傑作である、ということに異論をとねえる人はいないであろう。最晩年の作であるから、「モーツァルトの白鳥の歌」と言っておかしくない。モーツァルト室内管弦楽団は2020年に創立50周年を迎えるので、2016年から〈創立50周年に向けて〉シリーズを年1、2回のペースで開始するが、その第1回として《魔笛》は最もふさわしい作品と言えよう。モーツァルトのオペラ上演に最適と思われる演奏会形式で1993年以来続けてきた〈モーツァルト・オペラシリーズ〉の第12回目でもある。関西の実力派歌手総出演によるこの傑作の名演をお楽しみいただきたい。

門 良一

モーツァルト室内管弦楽団／指揮：門 良一 *Mozart-Kammerorchester Japan / Ryoichi Kado, Dirigent*

1970年に指揮者 門 良一によって設立され、45年間一貫して30数名のメンバー構成を維持するわが国では数少ない本格的プロ室内オーケストラである。レパートリーはモーツァルト、ハイドンを中心とした古典派からバロック、前期ロマン派に及び、最近ではフランス近代の作品にも手を伸ばしている。モーツァルトに関しては交響曲と協奏曲の全曲を演奏した日本唯一のオーケストラであり、創立当初から新モーツァルト全集に準拠した楽譜を使用していることは注目に値する。91年のモーツァルト没後200年に際しては2年にわたり記念シリーズを催し、なかでもモーツァルトの予約演奏会プログラムを完全に再現した日本初の企画は大いに話題を呼んだ。演奏スタイルは中規模編成の特色をフルに生かしたもので、的確なテンポ、明快なリズム、清澄なサウンドは定評のあるところである。関西一円で演奏活動を展開するなかで、90年からは大阪いずみホールを本拠として年6回の定期演奏会を開催。また隔年毎に東京定期演奏会を行い既に17回を数えている。海外では88年にはドイツ民主共和国文化省の招聘による旧東独国内への演奏旅行を成功させている。内外の著名アーティストと数多く協演しており、なかでもマリア・ジョアオ・ピリス(85、87年)、シプリアン・カツリス(93、94年)、ペーター・ダム(83、86、88、98、00年)、ウィーンフィル木管アンサンブル(86年)、ライナー・キュッヒル(90年)らとの名協演はいまも語り草となっている。91年に姉妹団体、モーツァルト記念合唱団を誕生させ宗教曲等で活発に協演する他、93年には堺シティオペラの協力による〈モーツァルト・オペラシリーズ〉を開始し、いずれも好評をもって迎えられている。06年1月にはモーツァルト生誕250年記念特別企画としてオペラ《イドメネオ》の世界初オリジナル・ノーカット版演奏会形式上演を挙行し絶賛を浴びた。「素晴らしい成果」(毎日新聞)、「この楽団は注目」(朝日新聞)。07～09年全10回にわたる〈没後200年記念ハイドン・シリーズ〉を、09～11年全18回にわたる〈創立40周年シリーズ〉を開催。また10年からは〈ベートーヴェン・シリーズ〉を、15年からは〈創立45周年シリーズ〉を開始している。



ザラストロ
松下 雅人



夜の女王
四方 典子



タミーノ
諏訪部 匡司



パミーナ
鬼一 薫



パパゲーノ
西尾 岳史



パパゲーナ
西田真由子



弁者、僧
萩原 寛明



モノスタス
橋本 恵史



第一の侍女
津山 和代



第二の侍女
櫻井 孝子



第三の侍女
山田 愛子



第一の童子
朴 華蓮



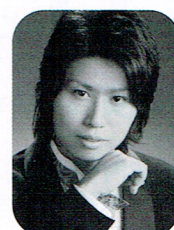
第二の童子
山田 千尋



第三の童子
麻生 真弓



第一の武士
西垣 俊朗



第二の武士
西垣 俊紘